

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 10月 24日

【評価実施概要】

事業所番号	3470206115		
法人名	有限会社 ヤシロ企画		
事業所名	グループホームふじの里		
所在地 (電話番号)	広島市佐伯区藤の木2丁目27-5 (電話) 082-927-3052		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島		
所在地	広島市東区福田1丁目167番地		
訪問調査日	平成21年10月22日	評価確定日	平成21年10月29日

【情報提供票より】(21年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	14.8 人

(2) 建物概要

建物形態	単独/併設	新築/改造
建物構造	軽量鉄骨 造り 2階建ての1階~2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000~52,000 円	その他の経費(月額)	19,500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 85.17 歳	最低	66 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	黄内科医院、生協さえき病院、コープ五日市診療所、ほりえ歯科医院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅団地の中心部にあり、近くにはバス停、公民館、公園などがあって環境に恵まれている。また地域住民との交流もよく行われており、町内会、女性会に加入、各種行事にも参加するなど地域に根差したホームづくりを目指している。ホームの屋上には草花を植え、緑化を実践し、家庭菜園作りをするなど、職員と利用者が一緒になってゆったり暮らせるホームづくりに意欲的に取り組んでいる。また、室内の設計も明るい居住空間が確保されており、利用者は職員の愛情と真心のこもったケアに守られながら このホームを「第二のわが家」として生き生きと楽しく暮らしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は①職員を育てる取り組み、②同業者との交流を通じた向上、③現状に即した介護計画の見直し、④災害対策であった。いずれも改善に向けて積極的に取り組み、②③④については解決済みである。①については 体系的、継続的な育成計画の確立に向けて取り組むことを期待する。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・職員は自己評価の意義を十分理解し、ミーティング等で話し合い、問題点の掘り起こしを行い、改善に結びつけ、サービスの質の向上につなげるように積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回 会議を開催し、自己評価や外部評価の報告、ホームの現状、行事予定などを説明するとともに出席メンバーからの意見やアドバイスを受けて、サービスの質の向上に活かしている。出席メンバーは学区内の社協会長、交友会会長、女性会会長、民生委員、包括支援センター職員、町内会長、家族代表、利用者代表、グループホーム役職員など、多彩であり、有意義で活発な意見交換がなされている。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への情報提供は主に面会時の懇談や電話連絡で行っている。意見・苦情についてはホームの苦情受付担当者のほかに第三者機関の窓口を重要事項説明書に明記し、入居契約時に家族に説明している。また、玄関には「ご意見箱」を設置するとともに年1回の家族アンケートも実施している。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議を通して地域との連携を深めるとともに、町内会・女性会に加入し、清掃活動や祭り、公民館行事等へ積極的に参加、施設の近況紹介をしている。また、近隣の公園への散歩などで地域の人たちと挨拶を交わし、つながりを深めている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の人達とのふれあいを大切にするとともに、利用者が基本的人権の保護のもと、安心して家庭的な生活環境の中で生きがいのある生活を送れるように支援することを運営理念として、その実現に向けて取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	案内パンフレットや利用契約書に理念と基本方針を明示するとともに定期的な勉強会・ミーティング等で再確認しながら日常のケア活動に結び付けている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し地域の清掃活動、雑祭り、夏祭り、公民館祭りなどに積極的に参加している。また、女性会にも加入し、施設の近況紹介や諸行事の手伝いを通じて交流を深めている。運営推進会議を通しての地域の連携にも努めている。		機会のあるごとに施設のPRを行い、ボランティア訪問など地域の人々が気軽に遊びに来ることのできる交流の場となることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や重要性はよく理解されており、朝礼、ミーティング等を通じて、必要事項を書類にまとめるなど全員が理解できるように取り組んでいる。前回、外部評価の要改善点も職員共通の課題として取り組み、改善に向けて努力してる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を開催し、出席者の意見やアイデアをサービスの向上に活かすように努めている。会議のメンバーは学区内の社会福祉協議会会長、交友会会長、女性会会長、民生委員、自治会長、地域包括支援センター職員、家族代表、利用者代表、グループホーム職員などで構成され、活発な意見交換が行われている。		

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の窓口との連携を密にし、報告・連絡・相談などで交流機会を多くするよう努めるとともに、区や包括支援センターが主催する研修会にも積極的に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に日常の暮らしぶりなど情報提供を行うとともに緊急の場合は電話連絡を行っている。以前は毎月請求書を送付する時に日頃の様子を記した手紙を添えていたが現在は手紙を書くことが少なくなっている。	○	たとえ2～3行の近況報告でも訪問機会の少ない家族にとっては貴重な情報源となっていることを再認識し、請求書送付時の定期便として手紙(便り)を同封されることを希望する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書、重要事項説明書に苦情処理の方法や受付機関等について明記するとともに、家族には入居時によく説明し、意見などを言いやすい雰囲気づくりに努めている。玄関にはご意見箱を設置、年1回のアンケートも実施している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職など、異動のあった場合には情報伝達に努めたり言葉がけに注意するとともに新職員が馴染むまでは職員同士でフォローし合い、利用者へのダメージを防ぐように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	基礎研修や社外研修にはできるだけ参加できるように心がけるとともにCD等の教材を貸し出すなどして資格取得の支援を行っているが職員の自主性に任せている傾向が強く、運営者が積極的に職員教育に取り組むことが今後の課題である。	○	職員個々のレベルに合わせて、必要な研修が受けられるように体系的・継続的な育成計画を確立されることを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設の見学や意見交換、相互訪問などにより、サービスの向上に取り組んでいる。11月には三和地区のグループホーム交流会に参加を予定しており、今後も継続していく考えである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、ホームの雰囲気に馴染めるように本人や家族と充分話し合い、生活歴や病歴などを把握し介護計画に反映させている。また、事業所の事前見学や体験入居、管理者による家庭訪問なども行い、職員と施設に慣れてもらうなどの工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を年長者として尊敬する気持ちを大切に、リビングで一緒にテレビ観賞したり談笑して行く中で共に学び、ゆっくりと一緒に過ごせる関係作りに努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時や家族の訪問時にできるだけ本人や家族と話し合い、生活歴や意向、希望を把握することに努め、可能な限り本人の思いに沿ったケアができるように努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者1人ひとりがより良く暮らせるようにそれぞれ担当を決め、ケアのあり方について本人・家族・職員で充分話し合った上で介護計画を作成し家族の承諾を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な介護計画の見直しのほかに健康状況などに急激な変化が生じた場合には関係者で話し合い、現状に即した新たな介護計画を策定している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買い物や外出の支援、里帰り、医療の活用など家族と相談しながら柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の希望を確認しており、現在、在宅療養支援診療所での対応により、安心して適切な医療が受けられるように支援している。 また、本人や家族の希望があれば、納得が得られるかかりつけ医での受診もできるような対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に利用者・家族の希望を聞き、ホームとしての基本方針を決めて取り組んでいる。重度化・終末期には家族・医療機関と連携を保ち、方針を決め、職員全員で共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者1人ひとりの尊厳やプライバシーを傷つけず、その人らしい生活ができるように職員の認識を徹底し、朝礼やミーティングで確認している。個人情報の管理にも細心の注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活ができるように、1人ひとりの体調に合わせた声かけとゆったりとしたペースづくりに配慮しながら希望に沿った役割の作業や趣味の時間が持てるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事をとり、家庭的な雰囲気の中で楽しい食事の時間を過ごしている。食事は利用者が一番の楽しみとなっており、一部の人は下準備・配膳・テーブル拭き・下膳なども職員と一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に入浴は週2回としているが希望があればできるだけ浴うように努めている。また、入浴を嫌がる人にも色々工夫しながら入浴してもらえるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人ひとりの能力や可能性に合わせて掃除・片づけ・洗濯物整理などをやらせてもらっている。また、楽しみ事としては習字・料理・カラオケ・外出・月例行事などを行っている。行動できる場面を多くするためにできるだけ声かけをするようにしているが、やらされていると思われることのないように十分気をつけながら支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に応じて買い物や散歩に出かけるようにしているが回数が少なく充分とは言えない。緑化された屋上スペースを利用して外気に触れる機会を増やすとともに屋上に通じる階段の上り下りでもバリアにも役立っている。		屋上にベンチや日除けを設置してゆっくり外気浴ができるように工夫されることを期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害は良く理解されており、基本的には日中は施錠されていないが、止むを得ない事情で施錠する時は家族の了解を得ている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルが整備され、地域の支援体制、緊急連絡網の整備も行われている。年2回の消防訓練には町内会からも参加していただくとともに運営推進委員会にも働きかけ、協力を依頼している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	社外の専門業者に委託しており栄養バランスとカロリーを重視したメニューとなっている。1人ひとりの状態や習慣に応じた調理を職員が行って楽しく食事ができるように支援している。食事や水分摂取量はバイタルチェックに基づき管理されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く明るいリビングにはゆったりとしたソファやテレビが置かれ、生け花や利用者のスナップ写真も飾られていて家庭的で居心地良く過ごせるよう配慮されている。廊下のベンチやソファでは気の合った者同士が談笑したり、和室コーナーは休憩と洗濯物を整理しながらのおしゃべりの場所として使われている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や生活用品が持ち込まれ、それぞれ思い思いの飾り付けをするなどして 本人が自分の部屋として居心地良く過ごせる場所となっている。		

NPOインタッチサービス広島

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	------------------------	---------------------------------

I 理念の基づく運営

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	地域の人達とのふれあいを大切にしている	<input type="radio"/>	ふれあいの場、機会を多くしていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念に基づいた支援に努力しています	<input type="radio"/>	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	運営委員会を通じて、地域の方に理解が、得られるようになった。運営委員会出来る限り幅広く多くの人の参加を呼びかけている	<input type="radio"/>	

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近所の方に挨拶を交わし、又町内会の行事にも案内を頂き、参加することを楽しみにしています	<input type="radio"/>	隣近所の方が出来るだけ自由に立ち寄ってもらえるようにする。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に入会して、雛祭り、夏祭り、公民館祭りなど参加しています。 女性会に加入して、夏祭り、公民館祭りの手伝いもしています	<input type="radio"/>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現在は取り組んでいない。	○	現在は、行事の参加に、とどまっているが、暮らしに役立つことは無いか話し合い、取り組んでいきたい
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	朝礼、ミーティング等で書類にまとめ報告している。	○	職員全員が理解できるように取り組む
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	評価内容を職員に報告している。	○	全員の取り組んでいるということの理解をひろめる
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	報告事項、相談、連絡は滞りなく行っている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	現在、必要性の該当者は、無く、職員は、学ぶ機会を持っていない		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の勉強会への参加 朝の申し送り等で、機会あるごとに喚起を促がしている	○	勉強会等で、虐待の認識を深める
4 理念を実践するための体制				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約は十分に説明を行い納得できるまで説明をしている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	苦情はご意見箱を設けている 訪問時などに話を伺い対応している 職員にはも朝礼等で、報告し、対処している		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	訪問時など日常の暮らしぶりを、報告している 緊急の場合電話連絡をしている 必用に応じて行なっているが定期的な報告は行なっていない	○	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の意見などは、申し送り、ミーティング時などで、提案を聞く機会を設け反映させている		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや随時、意見や提案を聞き、出来ることは反映している		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	調整をしている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	配慮している		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	------------------------	---------------------------------

5 人材の育成と支援

19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会には出来る限り参加するように心がけている	○	施設内での勉強会を設ける
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	電話での相談意見を交換している	○	11月三和地区のグループホーム交流会に参加予定
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩室は設けてあり、何でもいいやすい雰囲気づくりはしてあるが、特別な取り組みはしていない		

22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	介護への工夫や、勤務に対する意見を求め改善に努めている 研修会への参加	○	勉強会、研修会への参加
----	----------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------	---	-------------

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	入所前に本人並びに、ご家族との話を聞くよう心がけている。又入居後訪問時に、今までの様子等情報交換に努めている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	特に訪問時、情報交換は大切にしています 必要であれば電話で尋ねることもあります	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談内容などはケアプランに反映するよう心がけている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	馴染みの家具、写真等の持ち込みを勧めている 生活歴などを聴き会話を進める		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	リビングで一緒にテレビ観賞、談笑したりしています 年長者として尊び、学びゆっくりと一緒に過せる関係作りに努めている		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	利用者さんの悩みや、たわいのない話より、本人の考えてる事など、どうしたらよいか聞き出す。家族が自由に訪問できるように心がけている	○	家族共に一緒に本人を支えるように向ける
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	訪問時には、ご家族話を聞き、職員も一緒に会話にはいていける雰囲気づくりをしている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族には、友人等の訪問も出来るだけお願いしている	○	ご家族にもご協力していただく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	トラブルが起こらないように居室、テーブルの位置を変えたり、本人が少しでも落ち着き、孤立しないよう努めている	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	必要に応じ対応に努める		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族、ご本人と、話し合いながら意向の把握に努める		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時また訪問時にこれまでの環境、生活歴等を聴く	○	アセスメントの見直し
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日の生活の中で、報告、状況の変化を把握し、職員同士の情報交換をしている	○	状況の変化を、必ず記録に残す習慣
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	利用者さんが、より良く暮らせるため担当者を決めてケア会議を行い作成している。	○	
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	実施している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケア記録やヒヤリハットなどの情報を共有しながら、計画の見直しを行っている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人、ご家族の希望により理容院、歯科医、外泊など要望に応じ、対応しています。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	雑祭り・夏祭り・公民館祭りなど案内を頂き、両者本人のご希望であれば参加しています。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	本人の状況変化に応じている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在は行っていないが必要があれば行う。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたか、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	家族と連絡を取りながら、かかりつけ医と共に安心して適切な医療が出来るように支援をしている。	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	掛りつけ医師との連絡を取りながら対応している。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	非常勤看護師と、かかりつけ医により支援をしている。	○	
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	必要に応じ対応している。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	家族と共に協議しながら、医療機関と連携を保っている。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	家族と相談しながら、24時間対応の医療機関と連携を行っている。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	家族、本人の希望に沿えるよう情報交換をしている。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	職員への認識の徹底を、朝礼や、ミーティングにより認識を深めている	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人の意思確認をしながら、家族と共に出来る限り支援をしている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調を考え、できる限り希望に添うように支援をしている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	理美容は、本人の希望を聞き入れて実施している。	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	現在は、テーブル拭きぐらい 食事は大変楽しみにされている	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人の希望に添う		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	レベルの低下もあるが、出来るだけポータブルトイレや、トイレを使用している	○	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	希望があれば、添うようにしているが、現在は特別な希望はない		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ゆつくりそれぞれ本人のペースを大切にしている	○	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	重度の方が多く出来る限りではあるが、皆さんとの関わり大切にしている 家族の協力もあり、外出されている 役割については、やらされると思われる人もおり声掛けに十分気を付けながら対応している	○	出来ることを増やしていく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現在お金は所持していないが必要であれば、立替払いにて、必要な物を用意している 年二回のバスでの外出は、こずかいが使われている	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	possibleの限り対応しているが、充分とはいえない 突発的の願望には添うようにしている	○	色々な所に行かれる支援を増やしたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	年二回のバスでの外出する機会をもうけている 家族との外出も勧めている	○	
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	必要に応じ対応している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも気軽に訪問できるように、職員皆快くうけいれている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	状況に応じ危険の無い限り身体拘束はしていない		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	必要があれば、施錠しているが、基本的に施錠しないほうに努力している		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーについて、利用者本人が、鍵をしておられる。必要に応じ配慮している 夜間は、転倒の危険性の為入り口を施錠している場合もある		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険物の管理について、利用者さんの手の届かない所に保管している。くすりは特に注意している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	取り組んでいる。特に夜間の室内外の転倒に重視している。	○	ヒヤリハットの徹底
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	緊急時のマニュアルは掲示している	○	職員全員に徹底できるようミーティング 掲示物の見直し
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年二回の消防訓練、町内会の訓練も参加しています	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	家族の了解のもと本当に危険性がある時のみすることもある		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	実施している		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	かかりつけ医の連携のもと症状の変化の確認に努めている	○	薬の詳細について、全員が理解できるようにする
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	排便チェック表により、2日以上ない場合、薬での調整をしている 日常水分の摂取、運動への働きかけはしているが、薬に頼らなければいけない場合が多い		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後の口腔ケア、夜間の入れ歯は、ポリドントにより除菌をする。	○	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事の摂取量をチェックして管理している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事前の手洗い、消毒には特に気をつけている 利用者自身自ら消毒に心がけている人もいる 朝の朝礼において、声掛けはしている	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は、冷蔵庫保存をし、生物は出さない、ハイター消毒の実施、など行っている	○	
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	和風の一般民家の出入り口にして花壇を設置して美化に努めて親しみやすくしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	徘徊者もおられるが、配慮しながら居心地のよいように心がけている。	○	洗面所に手すりの増設予定
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下にはベンチ、ソファを設置し、気心の合った利用者さん同士で、話などされている。 1. 2階の行き来もされている。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	出来る限り、使い慣れた家具の持ち込みをお願いしている。 自分で出来る方は、本人の使いがたの良いうように、配置変更をしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	24時間喚起に配慮、温度計、湿度計も設置し外気温と、大きく差が無いよう配慮している。	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	レベルの低下は見られるが、安全性は、随時意見交換をしながら、配慮しています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	日時は良く分るように大きくカレンダーを設置して、利用者さんが毎日の日課としておられる。また、居室に名札も設置している。	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	庭には野菜、夏場は日よけのため、へちま、ゴーヤ・あさがお等鑑賞できる工夫をしている 屋上には、利用者さんが自由にさがられています	○	

V サービスの成果に関する項目 1

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① ほぼ全ての利用者の ② ○ 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① ○ 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいが ③ ○ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念の基づく運営				
1 理念の共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	地域の人たちとの触れ合い大切にしている	○	ふれあいの場、機会を多くしていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念に基づいた支援に努力をしています。	○	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	運営委員会を通じて、地域の方に理解を深めているが、出来る限り幅広く参加して頂く	○	
2 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近所の方に挨拶を交わし、又町内会の行事等に、参加するよう心がけています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に入会しています。ひな祭り、夏祭り、公民館祭りなど参加しています。又、女性会に入会して、夏祭り、公民館祭りの手伝いもしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。		○	現在は、行事等の参加にとどまっているが暮らしに役立つことはないか話し合い、取り組んでいきたい
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	朝礼や、回覧などを活用している。	○	ミーティングにより、全員が理解できるよう取り組む
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活かしている。ホームのサービス内容や利用者の生活支援についての理解は出来ているが、サービス向上の意見等までは浸透していない、防災に関する意見等については反映されている。	○	会議に近隣の方々の参加は困難ではあるが時間を掛けて取り組んでいく。 今後職員も会議に出来るだけ多く参加するように取り組む。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	報告事項や、相談、連絡は滞りなく行っている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	現在、該当者は無く、職員は学ぶ機会は持っていない		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の勉強会への参加 ミーティング時やその他、機会あるごとに喚起を促している	○	虐待を見過ごされる事が無いよう注意を払い、防止に努める。 勉強会や研修会へ出席。
4 理念を実践するための体制				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約は、充分説明を行い納得できるまで説明をしている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	ご意見箱を設けている。特別な機会は設けていないがその都度利用者・家族は、意見が言いやすい雰囲気である。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	定期的な報告はしていないが、訪問時など必用に応じて暮らしぶりなど報告をしている 急病等は電話にてそのつど連絡している	○	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の意見などは、申し送り時ミーティングなどで聞く機会を設け反映させている。	○	家族会の回数を増やしご意見が聞かれるようにする
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングなど、随時意見や提案など聞き、出来ることはすぐに行っている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	調整できている		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	離職者の補充時は特に職員の協力を求めて調整している。		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会に出来る限り参加するよう心掛けている 資格取得の支援としてCD等を教材として貸し出ししている。	○	施設内での勉強会、を設ける
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サー	電話での相談意見交換を行っている	○	11月に三和地区グループホームの交流会に参加予定
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩室は設けてあり、何でもいいやすい雰囲気づくりはしてあるが、特別な取り組みはしていない		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	職員に介護の工夫や、勤務に対する意見を求めて改善に努めている 研修会への参加	○	DVDなどの教材を常備して研修の代わりとして環境整備を行う。
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	入居前、本人並びにご家族との話を聞くように心掛けています。又訪問時に今までの様子情報を交換している		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	特に訪問時、情報交換は大切にしています 必要であれば電話で尋ねることもあります		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況に応じた対応に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気次第に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	馴染みの家具も持ち込みを勧めている 生活歴を、聞き会話をすすめている		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	リビングで一緒にテレビ観賞、談笑したししています 年長者として尊び、学びゆっくりと一緒に過せる関係作りに努めている		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	利用者さんの悩みや、本人の考えている事など、どうしたらよいか聞き出す。又、自由にご家族が訪問できる様に心掛けている。	○	家族と共に一緒になって本人を支えるように働きかける。
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	訪問時には、ご家族より話をお聞きし、職員も一緒に会話にはいていける雰囲気づくりをしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族に、友人の訪問を出来るだけお願いしている	○	ご家族に協力していただける雰囲気を作る
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	居室の場所、テーブルの位置の変更により、トラブルのないよう努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	必用に応じて対応に努める		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族、ご本人と、話し合いながら意向の把握に努めている		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時また訪問時にこれまでの環境、生活歴等をお聞きする。	○	アセスメントの見直しを行う。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日の生活の中で、報告、状況の変化を把握し職員同士の情報交換をしている。	○	状況の変化を、話だけにとどまらないで記録に残すようにする。
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	担当者決め、自立を目指した支援をケア会議により作成している		
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	実施している		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケア記録やヒヤリハットなどの情報を共有しながら、計画の見直しを行っている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている。	本人又ご家族の希望により美 容院、司会、外泊など要望に 応じ対応している。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に 応じて、民生委員やボラン ティア、警察、消防、文化・ 教育機関等と協力しながら 支援している。	雛祭り、夏祭り、公民館祭 り、などの行事は、案内を 頂き、席など準備して頂い ている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に 応じて、地域の他のケアマ ネージャーやサービス事業 者と話し合い、他のサービス を利用するための支援をして いる。	本人の状況変化に 応じている		
42	○地域包括支援センター との協働 本人の意向や必要性に 応じて、権利擁護や総合 的かつ長期的なケアマネ ジメント等について、地 域包括支援センターと協 働している。	現在は、行っていないが 必要に応じて行う。		
43	○かかりつけ医の受診支 援 本人及び家族等の希望 を大切に、納得が得られ た、かかりつけ医と事業 所の関係を築きながら、 適切な医療を受けられる よう支援している。	家族と連絡を取りなが ら、かかりつけ医と共に 安心して適切な医療が 出来るよう心がけてい る。		
44	○認知症の専門医等の 受診支援 専門医等認知症に 詳しい医師と関係を 築きながら、職員が 相談したり、利用者 が認知症に関する 診断や治療を受け られるよう支援 している。	かかりつけの医師と 連絡とりながら 対応している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	非常勤看護師と必用に応じて、かかりつけ医により対応している。		
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	必要に応じ対応している。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	家族と協議しながら、24時間対応の医療機関と連携を行っている。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	家族と相談しながら24時間対応の医療機関と連携を行っている。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	家族、本人の希望にそえるように情報交換をしている。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	プライバシーの確保について、職員へ認識の徹底を、朝礼や、ミーティングにより認識を深めている	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人の意思確認をしながら、家族と共に出来る限り支援している。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調を考え、出来る限り、希望に添うよう支援をしている。	○	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	理美容は、本人の希望を聞きながら実施している。	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は一番の楽しみのため喜んで頂く支援しています 現在は、下準備、配膳、テーブル拭き、手の諸毒、下膳等出来ることを行っている。	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人のご希望があれば対応している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個別の対応に心がけている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的には、3日に1回だが汚染又希望があればその都度対応している。	○	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ゆっくりと本人のペースを大事にしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味の編み物、スポーツ観戦などボタン付け、洗濯たみ、利用者さんが出来ることを出来る限り声かにより支援をしている。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	契約時の説明によりお金の所持は禁止とし、必要があれば立替払いにより必要な物は、用意している。 家族及び本人の希望により外出時は、小遣いとして自由に使用出来る機会を設けている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に、そって戸外に出かけられるよう支援している。	散歩など可能な限り行っている。 突然の希望については納得いくまで行っている。	○	色々な所に出て行くことへの支援を増やしたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	年2回程度バスでの外出する機会をもうけている。 家族での外出も勧めている。	○	
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら、電話したり手紙のやり取りができるように支援をしている。	必用に応じて行っている。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも気軽に訪問できるよう、職員皆が快くうけいれている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	危険防止以外の身体拘束はしていない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	徘徊時に危険を感じた時には施錠しているが、基本的に施錠しないほうに努力している。	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーについて、施錠が必要とされる利用者のかたは、鍵をしておられる。必要に応じて配慮している。 (夜間は、転倒の危険性のため入り口を施錠している場合もある)		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険物の管理について、利用者さんの手の届かない所に保管をしている。薬は、特に注意をはらっている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	夜勤者2人により取り組んでいる。特に夜間の室内外の転倒防止に努めている。		
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	緊急時のマニュアルは掲示している。	○	職員全員に徹底できるようにミーティング、掲示物を見直している。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回消防訓練を実施して町内会の訓練も参加している。運営委員会のほうにも働きかけている。	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	家族に了解のもと本当に危険性のある時のみ行う事もある。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	実施している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	かかりつけ医の連携のもと症状の変化の確認に努めている。	○	薬の詳細については、全員が理解できるようにする

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	排便チェック表により、2日以上ない場合、薬での調整をしている。 日常水分の摂取、運動への働きかけはしているが、薬に頼らなければ行けない場合が多い		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後口腔ケア、夜間の入れ歯は、ポリデントにより除菌を行っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べられる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	摂取量のチェックを行って管理している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事前の手洗い、消毒には特に気をつけている 職員にも朝の朝礼に、うがいの励行の声掛けを行っている。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は、冷蔵庫保存し、菌の発生しないよう、ハイター消毒、熱湯処理などを確実にしている。	○	
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	和風の一般民家の出入り口にして花壇を設置して美化に努め親しみやすくしている。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	徘徊者のことを配慮しながら居心地の良いうように心がけている。 開口部のそとに緑のカーテンを作り清々しい雰囲気作りを行っている。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下にはベンチ、ソファを設置し、気の合った利用者同士で、話などされている又、タタミコーナーでも寛がれています。	レ	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具の持ち込みも歓迎しています 自分で出来る方は、本人の使い勝手の良いうようにしてもらっている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	24時間換気に配慮、温度計を設置し外気と大きな差が無いよう配慮しています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	レベルの低下は見られるが、安全性は随時意見交換をし、工夫をしている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	日時が良く分る様大きくカレンダーを設置 居室に名札を設置		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるよ うに活かしている。	庭には野菜、夏場は、日よけのため、ヘチマ、ゴーヤ等 により、鑑賞できる工夫をしている 屋上は、利用者さんが自由に上がられています		

V サービスの成果に関する項目 2

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① ほぼ全ての利用者の ② ○ 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① ○ 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① ○ ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいが ③ ○ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① ○ ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目